



高等部一般学級キャリア意識調査
保護者アンケート及び生徒の自己評価結果より

高等部一般学級では、やがて社会人になっていく生徒たちに身につけてほしい行動を、具体的な行動目標として「キャリアアップ・チャレンジ5」と呼び、指導しています。年度末に当たり、キャリアアップ・チャレンジ5に関する保護者の皆様と生徒に実施した意識調査結果の概要を紹介します。

キャリアアップ・チャレンジ5

- 1 気持ちいいあいさつ返事
- 2 きちんとした身なり
- 3 ていねいなことばづかい
- 4 時間・約束を守ろう
- 5 そうじ・かたづけ

①保護者アンケート「知っていますか？」～保護者の認知度～

	今年度	昨年度
知っている	51%(↑ 19p)	32%
聞いたことがある	40%(↓ 13p)	53%
知らない	9%(↓ 6p)	15%

キャリアアップ・チャレンジ5を、「知っている」と答えた方がなんと19ポイントも向上し「知らない」と答えた

方も6ポイント減少しています。本年度は、実習説明会や実習報告会など、進路に関する行事が予定通り実施できた影響があると思われ、進路に関する情報提供の機会が重要であることがわかります。

②保護者アンケート「話題にしていますか？」～家庭への浸透度～

	今年度	昨年度
よくある	2%(↓ 2p)	4%
たまにある	51%(→)	51%
ない	47%(↑ 21p)	26%

キャリアアップ・チャレンジ5を、家庭で話題にしているかを尋ねたところ、「ない」と答えた方が、21ポイント

と大幅に増加し、約半数は「話題にしていない」現状です。

保護者の皆様には、社会で働く先輩としての体験談を踏まえて、日頃のお茶の間の話題にして頂ければ幸いです。

③保護者アンケート「今年一年の成長は？」

	今年度	昨年度
とてもよくなった	9%(↓ 26p)	35%
よくなった	47%(↓ 8p)	55%
かわらない	44%(↑ 34p)	10%

「とてもよくなった」「よくなった」の回答数が前年比大幅に減少しており少し残念な結果です。

特に「ことばづかい」の評価が著しく低くなっており、高等部一般学級生徒の全般的な課題であり、子どもに接する私たち大人全体の課題とも言えるかもしれません。

④生徒アンケート 自己評価 ～ポジティブ(肯定的)評価の割合は？

次に生徒の自己評価の結果です。生徒にはチャレンジ5の行動の出来具合を4段階で評価してもらいました。このうち、「よくできる」「できる」の回答は「ポジティブ評価」と考えられ、学年別、項目別に下表のようになります。

項目	1年	2年	3年
1 気持ちいいあいさつ返事	60%	90%	94%
2 きちんとした身なり	54%	90%	100%
3 ていねいな言葉遣い	69%	74%	81%
4 時間・約束を守ろう	56%	91%	94%
5 そうじ・かたづけ	93%	72%	94%
総合	66%	83%	87%

教育の3年間で、自己肯定感が確実に向上していると考えられる嬉しい結果です。特に3年生の自己評価は素晴らしく、みなぎる自信を感じます。

このような自信(自己を信じる力)が、進路決定への大きな推進力になったものと考えられます。

⑤生徒アンケート 自己評価 ～半年前と比べるとどうなった～

半年前の自分と比較してどう思うか聞いた結果もポジティブ評価が76%に

	割合
とてもよくなった	18%
よくなった	58%
かわらない	24%

のびります。

知的障がいのある生徒にとって、このように節目に自己を振り返ったり、家族や支援者から成長と課題について評価を受けたりすることが特に重要で、社会へ巣立つ力となります。年度末に当たり、ご家族がお感じになったお子様の成長を、前向きにお話をしてあげてください。

編集後記 アンケートからは、学校と家庭の連携の重要性が分かります。お子様のよりよい育ちのためには「学校と家庭が目標を共有すること。」「子どもの成長を見つけ確かめ合うこと。」が重要だと実感しました。進級進学の節目の3月。どうぞお子様の一年間の成長を振り返ってみてください。(担当：高等部 谷口)